第2節 家事や育児への参加状況

相対的にみて、東京の父親は家事への参加頻度が少ない傾向がみられる。さらに、育児への参加に関しても、東京の父親は子どもと遊ぶ頻度が少ないようである。たとえば、どれくらい「子どもと一緒に室内で遊ぶ」かをたずねたところ、「ほとんど毎日する」＋「週に３～５回する」と回答した割合は、東京以外の都市では４～５割台であるのに対して、東京は26.8%であった。

父親の家事参加の状況

ここでは、各都市の父親たちが家事や育児にどれくらい参加しているのかをみていくことにする。まずは、「①買い物をする」「②食事のしたくをする」「③食事の後片付けをする」「④掃除をする」といった基本的な家事を、週にどれくらいの頻度でしているのかたずねた結果を確認しよう（**図３－２－１**）。

最初に全般的な傾向をみると、東京の父親は、いずれの項目でも「ほとんど毎日する」や「週に３～５回する」といった高い頻度での参加が少ない。また、「ほとんどしない」という回答は、すべての項目で最も高い比率になっている。平日の帰宅時刻が遅いことと関連しているかもしれないが、東京の父親は相対的にあまり家事をしていない様子がみられる。

次に、項目ごとの状況を概観しよう。

週１回以上行っている比率（「ほとんど毎日する」＋「週に３～５回する」＋「週に１～２回する」、以下同様）に注目すると、「①買い物をする」は台北が82.4%と最も高い。また、ソウル、北京、上海はいずれも６割５分程度で、３人に２人が行っている。これに対して、東京は52.3%と半数程度にとどまる。

「②食事のしたくをする」は、全体にどの都市でも比率が低く、過半数に満たない。相対的には北京が46.1%と高く、つづいて、ソウル（32.6%）が３割台、上海（26.9%）、台北（25.2%）、東京（21.6%）は、２割台である。

「③食事の後片付けをする」は、台北（55.0%）と北京（53.4%）が半数を超え、ソウル（47.0%）と上海（45.6%）が５割をわずかに下回る。ここでも東京は、最も低く、35.0%である。

さらに、「④掃除をする」は、ソウル（59.7%）、北京（51.3%）、台北（50.8%）で過半数に達しているが、上海（35.9%）と東京（27.4%）の父親が行っている比率は低い。

このように、項目によって都市の順位は入れ替わりがあるが、相対的にみて、ソウル、北京、台北の父親は、家事への参加率が高い様子がうかがえる。

■図３－２－１　父親の家事参加の状況

注）配偶者がいる母親の回答のみ分析。

父親の育児参加の状況－東京の傾向

つづいて、**図３－２－２**から育児参加の状況をみていこう。まずは東京の父親の傾向について概観したい。

東京の父親は他の都市と比べて、「①子どもと一緒に外で遊ぶ」「②子どもと一緒に室内で遊ぶ」といった遊びの頻度が少ない。また、「⑤子どもを寝かしつける」も相対的に少ない傾向がみられる。これに対して、「③子どもをお風呂に入れる」機会は多いようで、「ほとんどしない」という回答は15.5％と比率が低い。

東京の父親が子どもと遊ぶ頻度が少ないのは、都市ごとに文化的な背景が違うからであり、その分をお風呂に入れるなどの日本に特徴的なかかわりで代替しているとも解釈できる。とはいえ、室内外を問わず「遊ぶ」といった基本的なかかわりが少ないのは、気がかりな傾向である。さらに、こうした子どもとのかかわりは、**図３－２－３**に示すように帰宅時刻により大きく左右される（詳細については、『第３回幼児の生活アンケート報告書・国内調査』p.109を参照）。前節でみたように東京の父親は帰宅時刻が遅いという現状を踏まえると、子どもとかかわる頻度は他都市と比べて少ないのではないかと推察される。

父親の育児参加の状況－項目ごとの特徴

次に、項目ごとの数値をみてみよう。

まず、「①子どもと一緒に外で遊ぶ」であるが、週３日以上の比率（「ほとんど毎日する」＋「週３～５日する」、以下同様）は、ソウル、北京、台北が２割、上海が１割５分であるのに対して、東京はわずか1.7％である。さらに、「②子どもと一緒に室内で遊ぶ」について週３日以上の比率は、北京が54.2％で最も高い。つづいて、ソウル、上海、台北の３都市は４割台だが、ここでも東京の比率が低く26.8％にとどまっている。全般的に、北京の父親に子どもとよく遊ぶ傾向があらわれている。

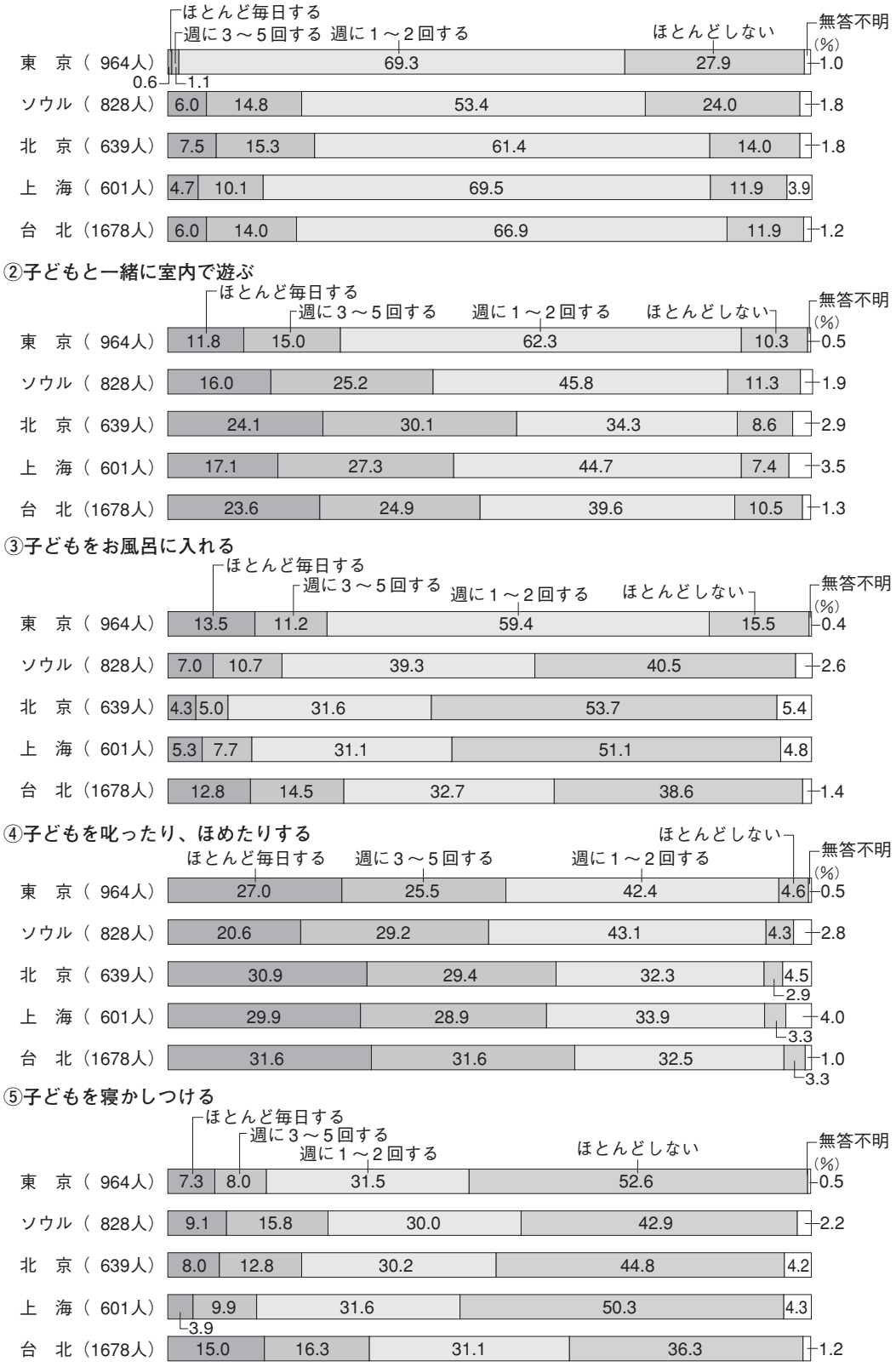
しかし、「③子どもをお風呂に入れる」は、北京や上海の比率が低く、東京や台北の比率が高い。東京は、週３日以上の比率が台北に続いて高いうえに、「ほとんどしない」という回答が15.5％と少ない。子どもをお風呂に入れるのは父親の役目という意識が日本の父親たちにはあるが、他都市ではそれほど明確な役割にはなっていないのではないかと考えられる。

「④子どもを叱ったり、ほめたりする」は、いずれの都市でも頻度が高く、週３回以上の割合は、東京とソウルで約５割、北京、上海、台北で約６割となっている。「ほとんどしない」という回答は、各都市とも５％以下である。

一方、「⑤子どもを寝かしつける」のは、全体的にいずれの都市でも頻度が低い。週３回以上の比率が最も高いのは、台北（31.3％）で、ソウル（24.9％）、北京（20.8％）、東京（15.3％）、上海（13.8％）の順になっている。

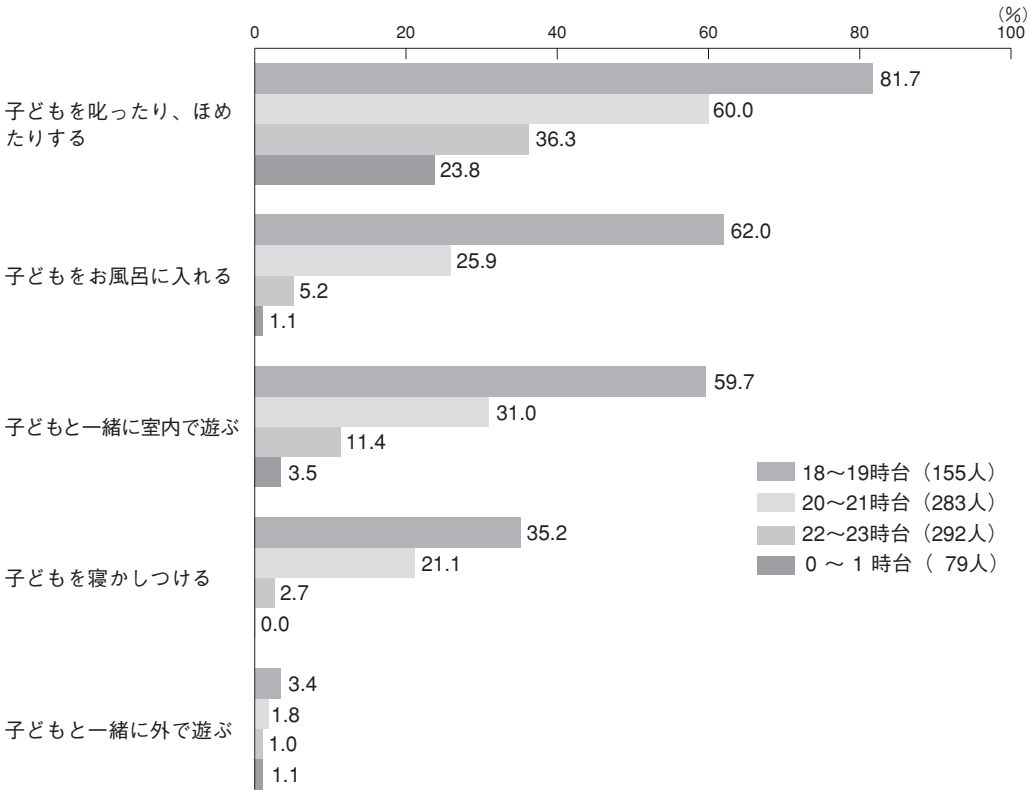
以上のように、育児への参加頻度は、項目によって都市の順位が入れ替わっており、特定の都市がすべての項目で高い・低いといった一定の傾向はみられない。また、家事の各項目との比較で言えば、総じて頻度が高く、父親は家事よりも育児のほうに積極的に参加している様子がみられる。

■図３－２－２　父親の育児参加の状況



注）配偶者がいる母親の回答のみ分析。

■図３－２－３　父親の育児参加の状況（東京　父親の帰宅時間帯別）



注１）「ほとんど毎日する」＋「週に３～５回する」の%。
注２）配偶者がいる母親の回答のみ分析。
注３）「18～19時台」は、父親が「18時台」もしくは「19時台」に帰宅すると回答した人。他の時間帯も同様である。
注４）「18～１時台」以外の回答をした人は、図から省略した。